

TBS テレビ

「世界遺産」

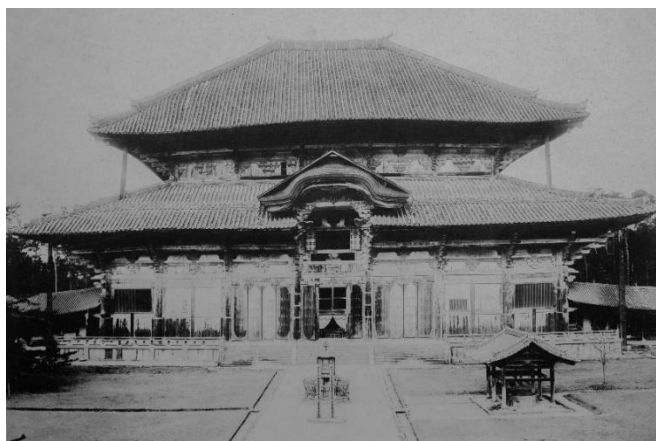
「古都奈良の文化財・東大寺の四季」

令和4年(2022)11月13日放送 (8K特別編 古都奈良)

ユネスコが登録する世界遺産サイトを、未来に語り継ぐ「映像遺産」として高精細のデジタル映像に納め、世界各国の文化、自然に対する知識と理解を深めるためにテレビ放送を続けております。

奈良盆地の北東部、春日山と若草山の麓にある東大寺。国内最大級の木造建造物・大仏殿に鎮座する大仏は、もはや奈良を代表する存在。今回は東大寺を中心に1年を通して撮影。四季折々で見せる絶景や、巨大大仏をイントレ・クレーン・高精細8Kカメラを駆使し、これまでにないアングルで迫った。また、3年ぶりに復活したお身拭い（大仏の大掃除）、普段は入れないエリア、上空からの撮影も交え、奈良・東大寺の新たな魅力を紹介する。

かつての大仏殿の姿として、「明治の大修理前、大梁への負担で屋根が変形していた状態だった。（下記写真） 屋根裏には全長24mの大梁が使われているが、明治の大修理時には材木が手に入らず、当時イギリスで最先端の鉄技術を使用した。



明治の大修理前の大仏殿

写真：奈良県名勝写真帖（明治43年発行）

奈良県立図書館蔵



春 桜廻廊の絶景

知られざる西側廻廊



秋の紅葉の絶景



巨大大仏の空間を支える秘密

入手できない木材に代わり当時最新の鉄技術